

財団法人 いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	橋本 昌 (理事長)	所管部(局)課	生活環境部 生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	http://www.icf4717.or.jp	E-mailアドレス	info@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000 千円	設立年月日	平成4年7月17日	
主な出資者	出資順位	出 資 者 名	出資額	出資比率
	1	茨城県	30,000 千円	100.0 %
	2		千円	0.0 %
	3		千円	0.0 %
	4		千円	0.0 %
	5		千円	0.0 %
	その他	団体	千円	0.0 %
設 立 的 目 的	(設立の沿革及び出資等県が関与している理由等を含め記載する。) 各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として、事業遂行に要する経費確保のために運用する目的で茨城県の出資により、平成4年に設立された。平成11年からは、組織再編により芸術文化に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館の運営も行っている。			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内 容
事業1 文化振興事業	369,876 千円	(実施する事業について、事業の目的・内容、公益性(県民への貢献度)等について記入する。) 個性豊かな県民文化の振興を図るため、芸術・文化活動への助成(文化活動等団体事業への助成42事業、特別公演事業への助成1事業)及び芸術・文化に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの中から公演事業を実施する。
事業2 県民文化センター事業	521,371 千円	(実施する事業について、事業の目的・内容、公益性(県民への貢献度)等について記入する。) 県民の文化活動の拠点として利用されている県民文化センターの施設使用の承認、施設使用料の徴収事務及び施設の維持管理を行うとともに食事等の提供、駐車場の管理を行い利用者への利便とサービスを図る。
事業3 大洗水族館事業	1,723,391 千円	(実施する事業について、事業の目的・内容、公益性(県民への貢献度)等について記入する。) 「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマに、観光レクリエーション施設、地域の文化と経済に貢献する施設、海を通じた環境教育現場としての生涯学習施設、自然保護と種の保存に関する実践・研究施設としての機能を持たせ魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成14年			平成15年			平成16年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	1	1	0	1	0	1	2	0	2
	非常勤理事	14	0	1	13	0	1	13	0	1
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	1	2	0	1	2	0	1
	計	17	1	2	16	0	3	17	0	4
職員	管理職	17	4	2	15	3	1	15	3	0
	一般職	73	2	0	71	2	0	68	2	0
	臨時職員	74	0	0	69	0	0	68	0	0
	嘱託職員	4	0	0	4	0	1	3	0	1
	計	168	6	2	159	5	2	154	5	1
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	11	21	29	22	83	42歳6月	18年4月			

[収支の状況]

財団法人 いばらき文化振興財団

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	1,906,001	3,965,979	2,871,667
	事業収入	968,263	3,692,590	2,642,975
	事業外収入	937,738	273,389	228,692
	支出合計	1,999,949	3,872,222	2,730,097
	事業支出	610,561	1,013,425	809,476
	事業外支出	1,389,388	2,858,797	1,920,621
	うち管理費	1,297,661	1,926,576	1,736,580
	うち人件費	725,360	773,998	723,982
	当期収支差額	-93,948	93,757	141,570
	正味財産増加額	256,742	1,614,696	733,099
	正味財産減少額	720,700	722,764	568,396
	当期正味財産増減額	-557,906	985,689	306,273
	前期繰越正味財産	1,057,585	499,679	1,485,368
期末正味財産	499,679	1,485,368	1,791,641	
財 産 の 状 況	資産	1,389,439	2,385,437	2,513,371
	流動資産	597,479	681,392	673,776
	固定資産	791,960	1,704,045	1,839,595
	負債	889,760	900,068	721,729
	流動負債	388,999	371,474	228,254
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	500,761	528,594	493,475
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	499,679	1,485,369	1,791,642	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	273,404	137,948	101,262
	委託金	431,343	440,649	403,391
	貸付金			
	計	704,747	578,597	504,653
	財的関与の割合(%)	37%	15%	18%
	損失補償・債務保証			

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	いばらき文化振興財団事務局では、理事会・評議員会の開催をはじめ、財団の事業計画及び収支予算の策定や事業所(県民文化センター、大洗水族館)への進行管理及び事業推進の指導にあたっては、芸術文化活動への助成など多くの県民にサービスの提供を図っている。
委託金	県民文化センターの運営及び施設の維持管理、使用料徴収事務を行い県民サービスに努めている。15年度は649,903人の施設利用者を迎えた。また、茨城県自然博物館水系展示水槽管理業務を受託し、15年度は「磯の生物タッチングコーナー」等を実施し好評を博した。
貸付金	

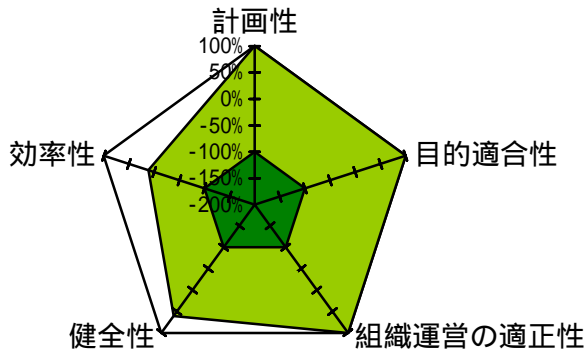
[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	14	14	100.0%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	24	40	60.0%
効率性	10	4	36	11.1%
合計	34	58	106	54.7%

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>県民文化センターの施設利用促進やグリル・売店事業での販売促進・経費削減についての努力は評価できる。 一方、大洗水族館の入館者が、中長期計画の目標を達成しているものの、昨年度に比し減少していることから、引き続きPRの強化やリピーターの確保による利用促進に努め健全な経営を継続していく必要がある。 なお、施設運営においては、指定管理者制度が導入されることを踏まえ、更なる業務効率化と経費の削減に努め競争力を高める必要がある。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>大洗水族館の入館者の減少については、オープニング効果の遞減によるもので止むを得ない面もあり、水族館としては、健全経営を図るため年間パスポートの導入や企画展・イベントの開催などリピーターの確保に積極的に取り組んでいるところである。 今後、指定管理者制度の導入など財団を取り巻く環境はますます厳しい状況となることが予想されるため、県民文化センターも含め経費の縮減と魅力ある施設づくりに努め、安定的な施設運営が図られるよう指導していく。</p>
-------------	--

< 財団法人 いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ >

当財団では、健全経営を図るため、各種広報のほか企画展・各種催事等による施設の利用促進や業務の一部を外部委託とするなどの経費削減に積極的に取り組んでおります。
また、オープン3年目となるアクアワールド・大洗では、来館者300万人達成を記念した割引券や年間パスポートの発行などにより新規の方はもとより、より多くのリピーターの方にもお出かけいただけるよう努めております。
今後とも、より一層楽しんでいただける商品の開発を行うとともに、更なる業務の効率化とサービスの向上を図ってまいります。
職員一同皆様のお越しを心よりお待ちしております。

平成17年2月 理事長 橋本 昌

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中期経営計画(平成14年度から平成18年度)を策定し、事業別に目標を掲げ運営にあたっている。2年目となる平成15年度は一部計画を下回る部分もあったが概ね計画どおりに推移している。	個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、文化センター、水族館等を運営しているが、施設及び事業の入場者による事業効果・目標達成度から目的に適合している。	職員の意見・提案では、15年度会計システムのOA化による事務改善の表彰を実施し、経営への参画意識や問題意識がもてるよう喚起を促した。	受託事業の再委託度が4%アップしているが、これは平成15年度から文化センター設備関係業務の一部を委託にしたためで当該職員の配置定数も減じている。	職員1人当り正味財産増加額では評点がマイナスとなっている。これは、水族館が14年3月にオープンし、13年度はその準備期間としてほとんど営業していなかったため3期連続の黒字にならなかったためであり、14年度に続き15年度も黒字となっている。
今後の事業展開の方向	財団が行う文化振興事業を安定的、継続的に実施していくためには、その基盤となる資金の確保に努める必要がある。公演事業については、芸術文化に接する機会を提供するという観点から収支均衡を保つ運営を行うこととなるが、県民文化センター自主事業、特にアクアワールド・大洗については、損益分岐点を的確に捉え効率的な予算執行を行い、展示内容の充実はもちろんサービスの向上を図るとともに入場者の確保に努めなければならない。このため、効果的なPRを実施し潜在客の発掘に努めるものとする。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
適切である。	適切である。	適切である。	設備関係業務など専門分野については、外部委託をすることにより事業運営の効率性と職員の適正配置による組織運営の適正性が図られる。	効率性が低い要因は、平成13年度が新水族館オープン準備のためほとんど営業していなかったことにより正味財産増加額がマイナスとなったことによるもので、特に問題はない。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
法人担当課の意見	<p>・水族館については、企画展の開催や旅行会社とタイアップした誘客施策を推進するとともに、来館者300万人を記念した次回割引券を発行するなど、リピーターの確保に努めている。</p> <p>・県民文化センターについては、貸館の空き状況をホームページに掲載し、利用者の利便性と利用率の向上に努めている。</p> <p>・また、付帯事業であるグリルについては、名称を「モンマルシェ」とするとともに催事終了後の余韻を楽しむ場として、閉店時間を延長するなど来場者のニーズに応える運営を行っている。</p> <p>以上のように、財団の役職員が常に経営的感覚を持ち事業運営にあたっている。</p>			